

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	地理歴史科・日本史A	単位数	3単位	履修学年	4年
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代史を中心とする日本の歴史を、世界の歴史と関連付けながら理解させる。 ・人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培う。 ・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 				
使用教材	教科書「日本史A」（清水書院）学習内容についての授業プリント				
評価の観点・評価規準	(関心・意欲・態度)	(思考・判断)	(技能・表現)	(知識・理解)	
	各学習内容について、関心を持って取り組み、意欲的にわが国の歴史と関連づけているのか。また、指示されたように、授業中の作業や課題提出をしているか。	人類の課題を多角的に考察しているか。また、客観的な視点に立って歴史的な事実について公正な判断ができるか。	プリントによる作業を適切に行っているか。また、問いかけや確認について、自分が考えた事や思った事を表現できるか。	学習内容について、理解しているか。また、学習内容についての知識が定着しているか。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容についての質問等からの関心度 ・定期考査での知識の定着度と記述問題の理解度 		<ul style="list-style-type: none"> ・プリントの提出度 ・プリント作業項目の完成度 		
学期	学習内容		学習のねらい		
1	第1編 近代日本の形成と19世紀の世界 第1章 国際関係の変化と幕藩体制の動揺 第2章 明治維新と近代国家の形成 第3章 国際関係の推移と近代産業の成立		<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の導入として、近代日本の形成と19世紀の世界について、その歴史の展開の中で培われた社会、文化の特質を理解する。 ・外国船の来航と海防策、幕末の社会の変化と農民の動向、幕藩体制の動揺と幕政、藩政改革などを考える。 ・国際情勢の変化とペリーの来航、近代化政策の展開などを多角的に考える。 ・条約改正と東アジアの情勢、日清戦争、日露戦争、台湾と韓国併合及び資本主義の確立と地主制などから、国際関係の推移と近代産業の成立を理解する。 		
2	第2編 近代日本のあゆみと国際関係 第1章 第一次世界大戦と政党政治の展開 第2章 第二次世界大戦をめぐる国際情勢と日本		<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦と日本、ワシントン体制、政党政治の展開、国民生活の諸相、社会運動の高揚、全国水平社の成立、大正デモクラシーと大衆文化などを考える。 ・協調外交と金融恐慌、昭和恐慌、満州事変と5.15事件、日中戦争、第二次世界大戦と日本などを多角的にとらえて、理解する。 		
3	第3編 第二次世界大戦後の日本と世界 第1章 戦後政治の動向と国際社会 第2章 経済の発展と国民生活 第3章 現代の日本と世界		<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の占領と改革、日本国憲法の制定、労働運動の高揚と占領政策の転換、戦後の生活と文化などを考える。 ・国際社会への復帰と日米新安保条約、高度成長期の日本、低成長から経済大国へなどを理解する。 ・冷戦の終結と「昭和」の終わり、現在の世界と日本などを考える。 		
学習上の留意点	時間は、過去から現在そして未来へと流れる。歴的事実を、時間の流れの中でとらえて、いかに多角的に考えることが出来るかを留意してください。日本の歴史を、世界の歴史と関連づけながら理解することに努めてください。				